

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議/ビデオ会議・Web会議・電話会議システム専門 定期レポート

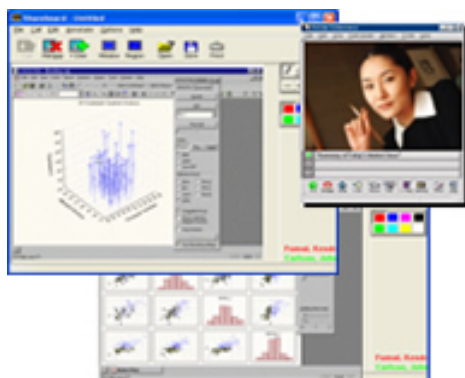
Vol. 10. No.5 2008年3月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

メディアプラス、H.323との接続に対応した米国製 Web 会議システムの日本国内販売を開始



資料を共有しながらの Web 会議インターフェース (多地点接続時)



AvistarMCUを使用した多地点接続インターフェース

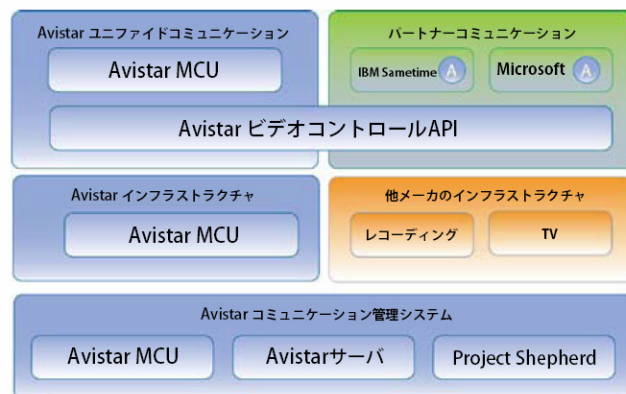
株式会社メディアプラス(東京都千代田区)は、Avistar Web 会議システムの販売を開始。Avistar(アヴィスター)は、米国に本社を持つ Avistar Communications Corporation 社が開発した製品。今回メディアプラスがアジア初となる正規代理店として国内販売を手がける。

Avistar はテレビ会議システムとの互換性を最大の特徴とする Web 会議システム。H.323 テレビ会議システムとシーム

レスに接続が可能。今後、H.323 /SIP テレビ会議システムにも対応予定。多地点接続機能(Avistar 多地点接続コントロールユニット使用)や高度な通話機能(保留/転送、アドホックカンファレンス等)も備えている。「プレゼンスバーから1クリックでコールを開始でき、ユーザフレンドリーな操作性で資料を共有しながらの Web 会議が可能だ。」(メディアプラス)

Avistar インフラは分散して配置することが可能だが、中央管理システムが帯域コントロールを行うことで、通信接続の安定性を提供する。

「Avistar は、システムの信頼性や拡張性そして、ファーストコール接続成功率 99.4%の安定性に定評がある。そのためすでに米国の主要金融機関において絶大なシェアを誇る製品だ。」(メディアプラス)



AvistarVOS ソフトウェアアーキテクチャー

管理者向けには帯域管理のほかルーティング(接続時自動的に最適なコールルートを選択する機能)、システムパフォーマンスの監視、ログ取得などの機能を装備。さらに API によるカスタマイズに対応し、IBM Lotus Sametime やマイクロソフト Office Communications Server との連携ができるため、「Avistar によって企業全体のコミュニケーションリソースを統合させることができる。」(メディアプラス)

ae コミュニケーションズ、タッチパネル、ハンズフリーに対応、音声通話も可能なデスクトップ型 IP ビデオフォンを国内販売開始



aethra MaiaXC(アエスラ・マイア XC)

ae コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)は、タッチパネル、ハンズフリーに対応、音声通話も可能なデスクトップ型 IP ビデオフォン「aethra MaiaXC(アエスラ・マイア XC)」の販売を3月6日から開始した。出荷は3月21日から。メーカー希望小売価格は、340,000 円(税別)。

「aethra MaiaXC のデザインは、アエスラの X シリーズの専用端末をデザインした、工業デザイナーとして著名なパオロ・ヴィラ氏が行っているため、コンパクトかつ洗練された機能的な製品に仕上がっている。その上、低コストローエンド機種とはいえ、テレビ会議システムとして十分な性能と機能も提供している。」(ae コミュニケーションズ/VTV ジャパン代表取締役 栢野 正典 氏)

aethra MaiaXC は、カメラ(CCD)、マイク、スピーカ、7 インチ液晶 TFT ディスプレイ(800x480 ピクセル、アスペクト比 16:9)を内蔵したオールインワンタイプ。

既存のテレビ会議システムとの接続を想定しているため、H.323/SIP 対応で最大 768kbps の接続をサポート。映像は、H.264、毎秒 30 フレーム/秒対応。解像度は SIF(352x288)、4CIF(704x576)などサポート。音声は、MPEG4 AAC-LD、G722.1 Annex C (14khz)を搭載。

また aethra MaiaXC から電話の発信及び着信も可能(DTMF 信号使用)だ。その上、テレビ会議 1 拠点、音声会議 3 拠点(POTS あるいは IP)、自拠点を含めた最大 5 拠点の多地点接続機能を標準装備している。これにより aethra MaiaXC 同士のポイント・ツー・ポイントのテレビ会議接続に音声電話が接続参加することができることになる。



その他、暗号化(AES、MD5)、PPPoE 接続、LDAP 電話帳機能などにも対応している。エコーキャンセラー、自動ノイズリダクション、オートゲインコントロールを搭載。

ユーザインターフェイスは、aethra MaiaXC 仕様で日本語、英語、イタリア語、中国語を含め 16 言語に対応。アドレス帳の他、接続中の接続状況モニターや診断機能、ヘルプ機能などもある。今後、メールやブラウザー、インスタントメッセージング機能にも対応を予定している。

aethra MaiaXC の背面には、外部映像・音声(RCA)ポートが各1系統ずつ標準装備。「外部モニターやマイクなど

映像音声の拡張が可能のため、たとえば会議室で複数参加のテレビ会議用途でも十分活用ができる。」(ae コミュニケーションズ 営業 橋本 和幸 氏)

ネットワーク用の端子としては、イーサネットポートを 2 個搭載。工場出荷時オプションとしては、タッチパネルディスプレイ、ワイヤレスモジュール、パワーオーバーネットイーサネット(PoE, 802.3f)を提供。

aethra MaiaXC の大きさは、幅は約 30cm、奥行き 10cm、重さ 1.95kg。

ae コミュニケーションズは、VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)が、平成 18 年 5 月 23 日に伊アエスラ社のテレビ会議システム専門の販売会社として設立。これまでに官公庁、大学、製造、金融、小売、輸入販売、サービス、IT などのユーザに導入実績がある。

伊アエスラ社は、1972 年設立。ISDN や xDSL 等のネットワーク関連製品、テレビ会議、音声会議、音声、ビデオ、データサービス向けのマネージメントソリューション等の通信器機関連を開発製造し、世界 60 カ国以上で販売している。テレビ会議システムにおいては、これまでに 10 万台以上の設置実績がある世界第 4 位のシェアを持つ。

製品・サービス動向-海外

Videoconferencing Insight ニュース：独 VidSoft 社、HD 対応の PC ソフトウェア型テレビ会議システムとホスティングサービスを発表

VidSoft 社(米国、マサチューセッツ)は、CeBIT 2008(ドイツ、ハノーバー、2 月開催)で、720p(1280x720)対応の PC ソフトウェア型テレビ会議システム「VidSoft Version 1.9」を



表。5月から販売を開始する予定。

VidSoft ソフトウェアは、10 ユーザライセンスからとなっており、価格は、10,000EURO 以下の低コストで導入できるという。AES 暗号化をサポートしており、アプリケーション共有、デスクトップ共有、ドキュメント共有、ファイル転送の機能を持つ。多地点機能は、サーバにインストールされた MCU ソフトウェア機能を使い 10 地点の多地点接続が行える。

またサーバ導入と合わせて、VidSoft を使用した SaaS (Software as a Service) ベースのホスティングサービスを 4 月から開始すると発表した。

スタンダードサービスとプレミアムサービスを提供する。スタンダードサービスは、1ライセンス 25EURO/月で提供。多地点接続、データ共有(アプリケーション共有、デスクトップ共有、ドキュメント共有、ファイル転送)をユーザは利用できる。

一方、プレミアムサービスでは、1ライセンス 60EURO/月で提供。10 ゲストアクセスや電話へのゲートウェイサービスが付加される。

コーポレートユーザ向けのホスティングサービスは、1ライセンス 200EURO/月で提供。電話や H.323 対応のテレビ会議システムへのゲートウェイ機能、5ゲストアクセス機能を提供。8ユーザから最低 6 ヶ月利用契約。追加ライセンスは、1ライセンスあたり 25EURO/月。

「インハウス・ソリューション(つまり、サーバ導入版)での実績を基に今回新たにホスティングサービスを提供することにした。VidSoft は簡単に使用できることが特長だが、ホスティングサービスでも、サーバ導入版と同等のエンドツーエンドのセキュリティレベルを提供する。ユーザは安心してミーティングに集中することができる。」(VidSoft)

VidSoft 社は、1999 年設立。米国マサチューセッツ州ケンブリッジに本社、ドイツ ドレスデンに欧州支社がある。非公開企業。ソフトウェアによる音声、ビデオ、データを統合したコミュニケーションソリューションの開発を行っている。同社のソリューションは、世界 20 カ国で採用されてい

るという。

Videoconferencing Insight ニュース：バーレーンの Batelco 社、3.5G 携帯テレビ電話サービスを開始

バーレーン王国で電話や携帯などの通信サービスを提供する Batelco 社が、同国では初めての 3.5G 携帯テレビ電話サービスを開始した。

このサービスは、同社の「O Services」サービスのひとつとして提供されるもので、3G 対応の携帯テレビ電話機と同社の 3G 携帯サービスに加入していれば、このテレビ電話サービスが利用できる。また、5人までのマルチポイントによるテレビ電話も提供する。

今回の発表に際して、「マルチポイントのテレビ電話ができることで集まるための時間や費用を節約できる。また顔が見えることでお互いの誤解を未然に防ぐ効果もある。」といった趣旨のコメントを出している。

O Services には、その他、ビデオメール、コンテンツサービス、モバイルブロードバンドサービスなども提供されている。

Videoconferencing Insight

<http://www.vcinsight.com/?menuID=100>

業績発表

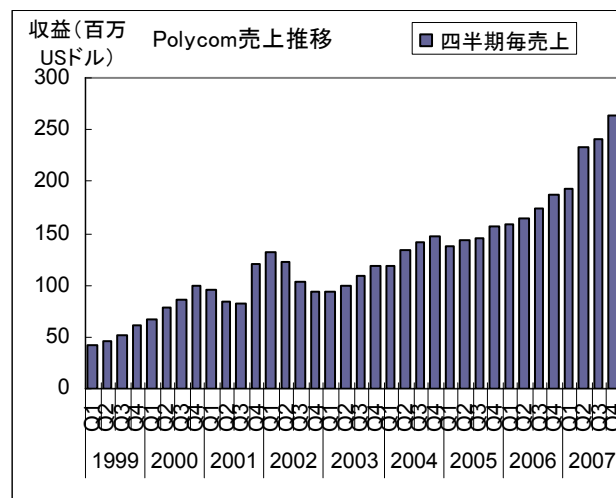
NASDAQ 上場企業の業績レポート

2007 年 10 月-12 月期

米ポリコム社

米ポリコム社は、2007 年第四四半期と通年の業績(連結)を発表した。第四四半期は、過去最高の 2 億 6330 万 USD (約 273 億円)を記録(そのうち、SpectraLink 社の売上が 3720 万 USD。同社は、2007 年 3 月 27 日に買収完了。)。これは、2006 年同四半期の 1 億 8650 万 USD に比べ 41% の売上増を示す。ポリコム社は、2007 年通年では、9 億 2990 万 USD (約 965 億円)と、10 億 USD(1 billion)の台直前と

なった。



また第四四半期での専用端末出荷台数は、21,010 台、デスクトップシステムの出荷台数(シート数含む)は、10,928 台・シート。HD 対応の HDX シリーズの伸びが好調。HD の販売割合は、「ビデオ会議販売全体の 20%後半程度。」と同社の業績発表会で説明している。

ビデオ会議端末、インフラ製品などのビデオソリューション事業は全体の売上うちの 63%(前年同期は 72%)、音声コミュニケーション事業は、37%(前年同期は 28%)。

一方音声システムについては、音声会議などの音声端末の出荷台数が 2007 年単年度だけで、100 万台を出荷したと発表。前年同期比で、17%の売上増を達成。もともと、同社は、90 年代前半音声会議から事業をスタートしている同社としてはビデオ会議と同様主力の事業である。

事業成長の背景として、同社内の既存製品の販売増だけではなく、戦略的に提携をしているアバイア、ノーテル、IBM、シスコシステムズ、アルカテルなどと統合したソリューションを市場に提供することで事業機会を開拓しそれが売上増にも結びついているという。

また地域別ではアジアでの事業は好調のようで、中国やインド、とりわけ中国での結果に非常に高い満足をしているとコメントを出している。

セミナー・展示会情報

業界初の試み "参加型 Web セミナー x 液晶ペンタ ブレット" 世界シェア No.1 同士の共演!

日時:3 月 18 日 (火) 14:00~15:00

会場:インターネット上の会場 (オンライン)

主催:ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン
株式会社

協賛:ワコム株式会社

詳細・申込:

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_031808.html?SourceId=hpg

テレワーク推進フォーラムセミナー

日時:3 月 19 日 13:00-16:00 (受付開始 12 時半)

場所: 大手町サンケイプラザ 301 会議室

(東京都千代田区大手町 1-7-2)

主催:テレワーク推進フォーラム 事務局

詳細・申込:

<http://www.telework-forum.jp/documentation/seminar/080319-1.html>

ZDNet Japan スペシャル

ZDNet Japan (<http://japan.zdnet.com/>) スペシャルで 2 月 7 日より「進化するテレビ会議」特集が始まりました。その中で、橋本もコラムを何回か書かせていただくことになりました。よろしければご覧いただければ幸いです。今後とも宜しくお願ひ致します。

進化するテレビ会議

<http://japan.zdnet.com/sp/feature/visualcomm/>

-進化するテレビ会議 (5) --タンバーク:業務を革新させるビデオ会議システム(3 月 10 日)

-進化するテレビ会議 (4) --ポリコム:会議の質を変える HD 対応からテレプレゼンスへ(2 月 29 日)

-進化するテレビ会議 (3) --NTT アイティ:会議システムは業務改善ツール(2 月 21 日)

-進化するテレビ会議 (2) --ビジュアルコミュニケーションの歴史(2 月 14 日)

-進化するテレビ会議 (1) --ホウレンソウと遠隔会議システムの深い関係(2 月 7 日)

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

海外では新製品、UC 関連、大型買収などいろいろな動きが見られますが、この定期レポートでも可能な限りレポートしていきたいと思っております。

代表 橋本啓介